

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスpono				公表日	2025年11月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		1階2階と広いスペースが確保できている。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		日よけ出勤スタッフに変動はあるが、適切に配置されている。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8		玄関はフラットだが手洗い場に段差や2階への階段がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		整理をして広く使っている。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		1階をパーテーションで区切り個別対応の部屋を自由に入れようとしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		その日の支援後に振り返りと明日の予定を話し合う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		りたりこホームページに載せている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日振り返りの時間を設けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		実施していない。今後検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		zoom研修や外部研修に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		りたりこホームページに載せている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		現場スタッフの意見を聞いて作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全スタッフに共有し、確認している。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	アセスメント表を用いている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに沿って5領域を組み合わせている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		現場スタッフで日々話し合っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		その日の利用児に合わせた活動をしている。		

関係機関や保護者との連携	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		基本は集団だがその日の児童の情緒により個別対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝ミーティングと支援後の振り返りをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		業務日誌に記入している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		業務日誌に記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		6ヶ月ごとのモニタリングと必要に応じて見直しをしている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管と現場スタッフで参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて他機関との連携をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保育園の先生との情報共有ノートや見学対応をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		小学校での担当者会議が相談員がついている児童は行うこともある。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	1			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6	出来ていない。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	出来ていない。今後検討する。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や電話、連絡帳を通してお伝えしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		ペアレントトレーニングは実施できていない。出来る人材がない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者と子どもの要望をアセスメント時に聞いている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		説明し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		電話や送迎時に相談を受け、助言や支援をしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			開所1年で父母会を開催したが2年では行う予定はない。検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		すぐに対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		りたりごホームページや、インスタグラムで情報発信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付き棚に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に合った対応をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	隣の散髪屋と交流がある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		避難訓練をしている。インスタグラムやりたりごホームページに載せている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP訓練をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	6	医師の指示書まではとっていない。アレルギーの聞き取りを保護者へ行っている。	医師の指示書が必要な児童に関しては適宜、提出を依頼する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全研修をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		りたりごホームページやSNSで発信している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットを作成し、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		委員会・研修をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		保護者に同意書を用いて了承を得ている。計画書には載せていない。	今後は計画書にも記載していく。